

フィンランド教育セミナー開く

6月22日、町教委は農村環境改善センターでフィンランド教育セミナーを開きました。



千葉氏は図書館の多機能性について「ボードゲーム、DVDゲームソフトもOK。ゲームから学ぶこともある、と考えている。閲覧室にキッチンもあり、冷蔵庫も備えている。図書館の音楽部門が独立して特化した図書館もある。ヘルシンキ市立図書館には本が一冊もなく、ミーティングポイント機能として使われている。ネット接続のためのWi-Fiも無料。3Dプリンターも使える」などと紹介しました。

千葉氏は図書館の多機能性について「ボードゲーム、DVDゲームソフトもOK。ゲームから学ぶこともある、と考えている。閲覧室にキッチンもあり、冷蔵庫も備えている。図書館の音楽部門が独立して特化した図書館もある。ヘルシンキ市立図書館には本が一冊もなく、ミーティングポイント機能として使われている。ネット接続のためのWi-Fiも無料。3Dプリンターも使える」などと紹介しました。

野菜生産者、繁忙期前に交流

7月4日、東川町農協蔬菜(そさい)園芸研究会(園田稔会長)が主催して同農協本所出荷倉庫を会場に夏の野菜生産者の集いを開きました。

園田会長は「ハウス野菜の生産拡大に向けて今年からスタートした3カ年6千坪(約2万平方メートル)の計画は、1年目で2千330坪(約7千700平方メートル)になり、計画以上のハウスで栽培スタートした。トマトの共同選果出荷もスタートした。野菜のおいしさを伝えていかなければならない時代にな



大雪山の火山活動と防災取上げ講演会

「最後のマグマ噴火は5千年前。噴火活動は終わっていない」と「東川はジオパークの活動そのものを実践している」などと旭岳を中心とする火山群の活動、新たな活用可能性と防災の取り組みについて講演会が開かれました。



7月14日、北海道火山勉強会(会長・中川光弘北海道大学大学院教授)が主催して農村環境改善センターで開いた北海道火山学会「活火山大雪山の研究と防災の取り組み」の一般講演会が示されました。

同勉強会は、道内の地質研究者、火山研究専門家ら約60人で活動し、道内の火山活動地帯を巡って勉強会を開いています。本町では初めての開催。

地球惑星システム科学分野教授の中川氏、北海道教育大学旭川校の和田恵治教授、旭川地方気象台の松森敏幸気象台長の3人が登壇しました。

旭岳を中心とする大雪山火山群の活動変遷について、中川教授は「マグマ噴火を断続的に続けている十勝岳と異なる。最後のマグマ噴火は5千年前。それ以降活動が終わりつつあるが、別の山で活動が始まって山が出来ることは容易に想像できる」と指摘しました。和田教授は、「旭岳と共生する風土へ」というテーマで登壇し、「東川町

東アジア地域交流促進会議開く

6月25日、役場で東アジア地域交流促進協議会(会長・松岡市郎町長)の第4回アドバイザー会議が開かれました。



今年韓国、台湾、中国、タイ4カ国・地域(順不同)から10人が出席しました。韓国アドバイザーのハ・スンヒョン(河承賢)さんは「観光地図の主要観光地に写真撮影スポット、マップコードを記載したほうがいい」と提案しました。

「学生はここに来るメリットがなければなかなか来ない。単位認定制度を実現できないか」と提言しました。大隅千晶さんは「去年、東川町観光案内所を開設することができ、台湾東川会もできた。東川会は来年開けたらいい、と考えている」「パンの店、お菓子の店のことを聞いてくる人もいる。米粉をもっとPRしたい」などと話しました。

ラトビアの民話、シカ姫伝説を基にして小説家で翻訳家の三木卓氏(鎌倉市在住)が書き下ろした作品「鹿姫ものがたり」(かまくら春秋社刊、A版32頁)で、挿し絵を担当したラトビアのウエセ・マティソネさん(35)が、絵本の原画を町に寄贈してくれました。

ラトビアの民話、シカ姫伝説を基にして小説家で翻訳家の三木卓氏(鎌倉市在住)が書き下ろした作品「鹿姫ものがたり」の挿し絵作家が来町



6月29日、絵本を出版したかまくら春秋社の伊藤玄二郎社長、マティソネさんらが来町。原画制作時の苦労な

話をしているそうです。リエパーヤ大学人文学部芸術学科修士卒業後、昨年リエパーヤ芸術賞のリエパーヤの秋賞を受賞しています。

渋谷さんが町に自著を寄贈

旭川市在住の渋谷正己さん(80)が所蔵の写真集「遙(はる)かなる山」(遊人工房刊)のⅡ・Ⅴ巻4冊を町に寄贈してくれました。6月23日、妻の孝子さん(80)と一緒に来庁しました。町が大雪山に関係する各種文献を集めていることを知って申し出をいただきました。同写真集は、山岳写真家内田良平氏(横浜市在住)が中心となって約20人で結成した山岳写真愛好

家の会、閑良屋(ヒマラヤ)会の結成記念写真集として出版しました。1993(平成5)年、15周年記念として出版した第1巻以来、5年ごとに巻を重ねて2013(平成25)年第5巻を出版しています。

富士山、立山連邦、北穂高岳、白馬岳、大雪山系の旭岳、赤岳、十勝岳など、会員が撮影した美しい山々の写真集です。渋谷さんは、同会創立以来の会員だとい、町が大雪山関係書籍を集めていることを知って所蔵本の寄贈を申し出てくれました。

